5月の園だより

社会福祉法人　であいの里　さやま保育園
2023年5月1日発行

＊＊保育目標　讃嘆　ーたたえますー

- 降誕会には、みほとけさまにお参りし、ほとけさまのお話を聴く。
- 春の自然にふれて、友だちや保育士と関わりながら、遊びを楽しむ。

今月の行事予定

8･22日　礼拝（4･5歳児）
12日　避難訓練(不審者通報訓練)
発育測定(10日/きりん、11日/うさぎ･りす
15日/ぞう、16日/あひる･ひよこ)
17日　降誕会(ごうたんえ)お楽しみ会(コンサート)
22日　クッキー作り　　23日　誕生会
つるさし（24日　4･5歳児　25日　3歳児）
30日　じゃがいも掘り　　26日　口座引落

【法話】　降誕会(ごうたんえ)

新年度が始まり、ひと月。肌寒さの残る朝晩もありましたが、ようやく昼間は、汗ばむ季節となりました。

浄土真宗の宗祖親鸞聖人(しゅうそしんらんしょうにん)は、承安３年（１１７３年）５月２１日、京都の東南、日野の里で生まれられ、幼くして両親と別れ、９歳で出家得度(しゅっけとくど)し、それから２０年間、比叡山で血のにじむ修行をされました。しかし２９歳の時、山を捨て法然上人(ほうねんしょうにん)の門に入られました。自力(じりき)の世界から他力(たりき)（仏力）の世界への転入です。いつも闇の中で生きている者は、それが闇であることがわかりません。闇が闇と気付かされ、闇が破られていくのは、光のはたらきです。私の心の闇を晴らしてくれるその光は、他力（仏力）・お念仏の教えであると教え示して下さったのです。

親鸞さまのお誕生日、５月２１日を「降誕会(ごうたんえ)」といいます。保育園では毎月２１日にその月の子どもたちの誕生会をし、今年の５月には降誕会お楽しみ会をします。また今月８日から、月曜日に礼拝(らいはい)が始まります。「しんらんさまについて」、「ほとけさまについて」、「わたしについて」等いろいろなお話しをしますので、ご家庭でも尋ねてみてくださいね。

今年は親鸞聖人が誕生されて、８５０年目、浄土真宗が始まって 800 年目になります。

合　掌

『楽しくてうれしい　ランチタイム』

今年度は、以上児(ぞう・きりん)全員でホールをランチルームにして給食をいただいています。「食べる事が楽しくて、うれしくなる子どもに‼～心と体の記憶に残る　食の体験を目指して～」を、食育のテーマとして、「食べたい時間に、食べたい量を、食べたい子と一緒にいただく給食」を大切にして、４月当初から始めています。

３歳児は食べれない子がいないだろうか？新しい子どもたちの食べる量の把握ができるだろうか？先生たちにとっては、不安で始まった給食でしたが、子どもたちは逞しく、4、5歳のお兄さんお姉さんが、優しく手を引いて連れてきてくれたり、食器の片付けのわからない子にも丁寧に教えてくれたり、お願いしなくても自然にお世話をしてくれるお陰で、進めてくることができました。

おかずの量は、おむすびの大きさで大中小に分けて盛り付けされて並べてあり、好きなお皿を選びます。慣れない子ども達はどうしても大きいおかずを選んでしまいます。大丈夫かなあと心配になりますが、敢えて、食べられなかった経験もやってみて、その経験の中から、自分で自分の食べられる量を見つけていきます。毎日、おかずの前でじっくりと、自分の量を選ぶ時間を大切にしてきました。自分の思いを、自分で決める時間です。どの子も自分で選択しています。お皿を選んだ後でも、「このおかずだけ減らしてください」とか、「美味しかったので、おかわりください」の声が聞こえてきています。子ども達って「すごい！どの子も自分の思いを持っていて、表現することが出来る！信じて大丈夫！」と思えた４月のランチタイムでした。

新しく入園されたお友だちも、生まれて初めてお家の方から離れ、新しいお部屋、お友だち、先生と一緒に、給食もおやつも、美味しそうに食べられる姿が見受けられ、嬉しく思います。